

《 名 塩 分 区 第 8 次 地 区 福 祉 推 進 計 画 》

計画期間：平成27年度(2015年度)～平成32年度(2020年度)

福 祉 目 標	育てよう福祉のこころ 築こう福祉のまち [第8次スローガン] みんなの“愛” ^{あい} で 助けあい
---------	--

基 本 理 念	自分たちのまちは自分たちで守り、育てあげます。～「向う三軒両隣」仲良く楽しく元気よく 地域の知恵と努力を結集して～
---------	---

重 点 項 目	具 体 的 活 動
1. 地域内外の福祉ネットワーク『安心・安全つながり』づくり	子ども・高齢者・障害者とともに歩むしくみづくり(当事者組織支援と交流活動の拡充強化) 緊急時、要援護者(子ども・高齢者・障害者)を支えるしくみづくり まちづくり事業への積極的参画と協働の推進強化
2. 核となる拠点・VCの拡充と拠点活動を支えるしくみづくり	福祉教育の拡充に向けて、学校との連携強化 次代を担う青少年育成(児童福祉)事業の推進強化
3. 子育て支援と青少年V活動の推進	全世代V活動のメニュー開発と実施 保健・医療・福祉の総合的地域拠点整備に向けての行政への働きかけ
4. まちづくり協働事業の推進	組織のたゆみなき変革(恒常的点検・総括)と人的資源の開発 情報の共有(情報交流体制の確立)

基本項目	項目	具体的目標	具体的活動	推進方策							位置付		
				内容	鞆27年	鞆28年	鞆29年	鞆30年	鞆31年	鞆32年			
I 向う三軒両隣、 みんなで築く福祉のまち	1. 参画と協働を促す活動の推進	広報活動	分区ニュースの発行		随時							継続・充実	
			宮っ子・なじおでの広報		随時							継続	
			支部ニュースの発行		年1回							継続	
			地区VCリーフレットの作成・配布(要援護者・地域)	保存用を含む	敬老会等年2回							継続・充実	
			ホームページの拡充		内容点検							継続・拡充	
		相談・情報提供	情報収集発信機能の強化	地区VC・IT機器活用の強化	PC講習							継続・充実	
			相談業務(地区VC)目標:VC週6日開所						週6日開所			継続・充実	
			情報の共有化(情報交流体制の確立)	ITと事業委員会・部会の活用	随時							継続・充実	
		話し合いの場づくり	すべての講座・研修会でディスカッションの場の設定		随時							継続	
			地域フォーラムの協働開催	分科会の実施	年1回							継続・充実	
	関連団体主催福祉講座・講演事業へのアプローチ		バズ・グループ討議等の併設を要望	随時							継続		
	つどいの場『あいの家』拡充		拡充					地域移管への検討			継続・拡充		
	まちづくり協働事業	地域コミュニティ推進事業等の協働活動の推進	西宮名塩ルミ・パピエ、夏つどほか	継続							新規・継続		
	2. 福祉意識をさらに高める活動の推進	啓発活動	福祉関連講座の見直し・強化(みんなのためになる、おもしろい「参画・協働」型講座の開催)	対象者・目的等研修会を含め整理・検討・強化	年3回以上							継続・強化	
			参加の促進強化(PR)		通年							継続・強化	
			公民館講座との連携強化	高齢者自立、団塊の世代対象講座	通年							継続	
		福祉教育	標語入り啓発物品の配布		各1回以上							継続・充実	
			世代間交流事業(高齢者・児童、高齢者・園児、高齢者・子ども・婦人、高齢者・中学生、三世代等)	関連団体との協働実施(位置付けの明確化)	各1回以上				内容充実	内容充実	内容充実	継続・充実	
			幼・小・中の学校との協働活動	車椅子等体験学習(小)	年1回								継続
				募金活動(小)	年1回								継続
				トライやるウィーク(中)	年1回								継続
				福祉施設V活動への継続的取組	プログラム研究 提案								新規(再)
			こどもフォーラムの開催	青愛協と共催	年1回							継続	
			健康開発運動の促進・子どもの居場所(運動会等)	スポーツクラブ21との協働・連携	随時							新規(再)	
			高齢者健康講座の開催	(高齢者福祉研修会)	年2~5回							継続	
			団塊世代V発掘・高齢男性自立支援講座等の開設	公民館活推員会との連携強化	年1回以上							継続	
		ハンディキャップのないまち・なじお運動	現地体験調査・要望	アンケート調査	継続検討						継続		
		次代を担う青少年育成(児童福祉)事業の推進強化	小P・青愛協との協働強化	随時							継続・強化		
		地域福祉計画名塩版の恒常的点検作業 PからDCAへ(Plan→Do Check Action)	市民会議の実施	市民行動計画の点検と見直し	年1回以上							継続	
			地域フォーラムの実施										
		3. 人材発掘・育成活動の推進	研修活動	代議員研修	全世帯への参加呼びかけ	年2回							継続・充実
				専門委員会委員研修	全世帯への参加呼びかけ	年6回以上							継続
				福祉協力員研修		年1回							継続
V研修・V必修講座(食品衛生を含む)	全世帯への参加呼びかけ			各年3回							継続		
福祉施設体験研修講座の実施	青葉園等1日体験学習			随時							継続		
研修活動の恒常的見直しと組み替えの研究	生涯学習の一環としての研修等			随時							継続		
活動者育成	コーディネーターの発掘・養成		年間1人以上を発掘・養成	年間1人	年間1人	年間1人	年間1人	年間1人	年間1人	年間1人	継続		
	Vの発掘・養成		関連団体への恒常的呼びかけ	随時							新規・継続		
	子育て支援グループの支援・養成		既成グループとの意見交換・支援	調査・実施							新規(再)		
	団塊の世代・学生への呼びかけ		V研修会等の開催	調査研究・実施							新規(再)		
	V必修マニュアルノートの整備		全ボランティアに配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	継続		
次世代育成	次代を担う青少年育成(児童福祉)事業の推進強化		小P・青愛協との協働強化	随時							新規・継続		
			青年団活動育成支援	随時							新規・継続		

※推進方策欄・項 [位置付] の「新規(再)」は第7次推進計画中間点検において、D評価(あまり進展していない)及びE評価(まったく進展していない)の事項で再度取り組むもの

基本項目	項目	具体的目標	具体的活動	推 進 方 策							位置付				
				内 容	鞆 27年	鞆 28年	鞆 29年	鞆 30年	鞆 31年	鞆 32年					
Ⅱ 当 事 者 と と も に 歩 む 活 動	1. 当事者ととも… (課題把握の強化)	調査活動 情報集約・整理	校区民協との連携体制の強化	懇談会・拡大地域推進会議の開催	年1回以上							継続			
			要援護者調査実施	調査方法の再検討	随時								新規(再)		
			要援護者情報収集	関連機関からの情報収集	通年								継続		
			福祉マップ作成	住宅地図CDの活用	通年								継続		
			要援護者台帳の整備	福祉関連情報一覧表の整備(コンピュータ入力)	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続		
				管理方法の検討	継続									継続	
	2. 孤立・孤独を防ぐ活動の推進	見守り・訪問活動	対象者情報収集	福祉関連情報一覧表の整備	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続入力	継続			
				活動方策の検討(関連団体との協働・役割分担の明確化とネットワーク化)	民生委員・児童委員、老ク連、VC(V)との連携	継続								継続	
		当事者との懇談会	介護者のつどい 介護者等連絡・相談会(同上茶話会) 「たんぼの会」との交流・懇談	障害者・高齢者との区分をせずに開催 当事者の会発足も促す(内容の再検討)	年2回 内容見直し								継続 内容見直し		
				気楽な交流・懇談	随時								継続		
				福祉よろず相談窓口開設を要望	VC等での定期開設	引き続き要望								新規(再)	
	市・市社協との連携	福祉よろず相談窓口開設を要望	VC等での定期開設	引き続き要望								新規(再)			
	3. 仲間づくりの推進	予防的活動	いきいきサロン活動・子育てサロン活動等	『あいの家』で実施	随時								継続		
				『あいの家』拡充	運営協力者の発掘・育成	拡充								継続・拡充	
				出前訪問相談(出にくい子育て世代へはこちらから)	『あいの家』での相談機能強化	拡充								継続	
		交流活動	敬老会(全参会者で行うプログラムを研究し、増やす) 介護者のつどい、介護者等連絡・相談会 『たけのこくらぶ』との交流 「たんぼの会」活動(スポーツ部を含む)	地域ぐるみのおもしろい企画	年1回								継続		
				楽しい役に立つ企画、内容検討	見直し									内容見直し	
				目標：気軽に共催	年8回	年8回	年8回	年8回	年8回	年8回	年8回	年8回	年8回	継続	
				持続可能な活動支援	月1回									継続	
		組織化支援	「たんぼの会」活動支援 要援護者家族の会づくり(当事者も含め) 一人暮らし高齢者を主な対象とした事業企画 子育て支援グループの支援・養成 NPOへの支援と連携	持続可能な組織づくりと活動支援	随時									継続	
				組織化よりも受け皿づくり	継続呼びかけ									継続	
				老ク連と協議検討	研究検討									継続	
	4. 支える活動の推進	在宅介護支援活動	VCを核とした在宅福祉活動の強化	地区VCを中心とした充実強化	強化								新規		
				ふれあい昼食会・地域巡回	年2箇所									継続・拡充	
				75歳以上招待・ふれあい昼食会	年2回									継続・充実	
				小地域福祉活動への支援	グループ・団体の福祉活動支援	年3団体								継続	
				地域福祉推進会議の充実	連絡調整機関としての定期開催・随時	定期年1回								継続・充実	
				地区VC機能の拡充	地区VC運営(在宅福祉事業委)	年5回									継続
					在宅福祉等相談受付	週5日開所									継続・拡充
					福祉機器の貸出し	随時									継続・拡充
					情報収集・発信基地機能強化	実施									継続・拡充
				在宅サービス・生活支援 関連事業の推進及び企画・開発	留守家庭児童育成センターの受託運営(必要に応じ支援) 子育て支援個別V活動拡充 全世代V活動のメニュー開発と実施 道路・交通網等、インフラの整備問題 地域生活便利帳作成配布	災害応急対策計画の策定	行動マニュアルの策定	協議検討	策定準備	策定					
緊急時、要援護者支援システムの構築		方策検討、訓練時にモデル施行	策定			モデル試行							新規(再)		
運営委員会の開催		年6回											継続		
PDCAによる実践・研究		継続											継続		
引き続き検討						試行	実施						新規(再)		
福祉課題としての取組研究		関連機関へ要望											継続		
再検討													新規(再)		
障害児等就学等支援		学校との協働で就学へのV支援	可能な範囲で実施	継続									継続・拡充		
	関連団体との協議研究		可能な限り協力									継続			
当事者組織支援	障害児一時預り所・グループホーム等の設置支援 障害者北部作業所支援	NPOと連携強化・協働事業の推進	継続									新規・継続			

※推進方策欄・項 [位置付] の「新規(再)」は第7次推進計画中間点検において、D評価(あまり進展していない)及びE評価(まったく進展していない)の事項で再度取り組むもの

基本項目	項目	具体的目標	具体的活動	推進方策							位置付		
				内容	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年			
Ⅲ・ネットワークづくり	1. 公私協働活動の推進	協働による在宅サービス推進・開発	福祉施設との協働システムづくりの拡充	プログラムづくり	随時							継続・充実	
			小・中学校との連携	児童・生徒V活動プログラムづくり	調査研究	実施						新規(再)	
			緊急通報システムの普及促進・協力員のつどい	就学支援V(可能な範囲で実施)	継続							継続・拡充	
		連携の場づくり(地域福祉推進会議の充実)	民生委員・児童委員との懇談	啓発・情報提供(分区ニュース)	年1回								新規(再)
			高齢者あんしん窓口・障害者総合相談支援センター・市福祉事業団等関係機関との定期懇談	協力員のつどい企画・参画	申し入れ								新規(再)
			保健師・ケアワーカー・ホームヘルパー等専門職員との定期懇談	地域福祉推進会議として開催	年1回								継続
		福祉・保健・医療施設の設置運動	福祉コミュニティ構築の核となる公的施設の誘致運動	情報交換・学習(在宅福祉事業委員会と併設)	随時								継続
				情報交換・学習(介護者のつどい等)	年3回								継続
		関連機関との連携	緊急時、要援護者支援システムの構築	分区が軸となり、関連団体に呼びかけ	要望書作成、関係機関に強力に訴える								継続
	2. 安心・安全ネットワークの推進	安心・安全の総合的な取組(福祉領域としての取組)	災害応急対策計画の策定	方策検討、訓練時にモデル施行	策定	モデル試行							新規(再)
			緊急時、要援護者支援システムの構築	行動マニュアルの策定	協議検討	策定準備	策定						新規(再)
			地域内緊急時連絡系統一本化体制の確立	方策検討、訓練時にモデル施行	策定	モデル試行							新規(再)
		地域団体との連携	理事会機能の充実	V活用を各地域団体へ提唱・PR	実施								新規(再)
			分区区域内連絡調整団体の設置検討	地区VC	随時								継続
			支部区域内連絡調整団体の設置検討	情報収集と連絡調整の強化	随時								継続
		専門機関との連携	医療機関との連携・必要に応じ随時体制確立	市市民会議の活用	課題ごとに解決方策提起								継続
			専門職員との定期懇談・必要に応じ随時体制確立	塩瀬地区連絡会議の是非協議検討	研究	検討→課題解決方策提起							新規(再)
			NPO等との連携	ペットボトルのふた、プルップ、古切手等収集活動協力	地区VC	随時							継続
近隣福祉施設との連携	福祉関連NPO・民間グループとの連携	懇談会開催(地域福祉推進会議)	試行	必要に応じ随時体制確立							新規(再)		
	地区VCとの連携	地域福祉推進会議の充実	必要に応じ随時体制確立								継続・新規(再)		
	近隣福祉施設との連携	情報収集と協力体制の研究調査	随時								継続		
Ⅳ・みんなのVC・組織の拡充	1. 組織体制の整備・拡充	活動組織としての体制整備	組織・規約・機構図等の恒常的見直し	活動組織としての強化・見直し	随時							継続	
			防災関係(消防団)との参画、連携	役員としての組織参画	引き続き要請								新規(再)
			障害児・部会等当事者の参画	持続可能な組織づくり	随時								継続
			組織外会員市民の参画(福祉協力員・Vを含む)	自薦・他薦による参画強化	随時								継続
			団体から個人へ(V・CN中心へ)	福祉推進員の拡充	随時								継続
			V必携マニュアルノートの整備	全ボランティアに配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	年度当初配布	継続
		東山台分区との協働	東山台分区との協働活動の推進	個別事業毎に協議検討	必要に応じ随時								継続・強化
			市社協組織・運営等の抜本的見直し	事務簡略化、補助金・会員会費・募金制度等の見直し、組織活性化への提言と協力	機会ある毎に継続して提言、要望、協力	随時							継続・強化
			活動基盤の充実	コンピューターの活用による事務機能整備強化	IT機器の整備・拡充	継続							継続
	2. 活動基盤の整備・拡充	自主財源の確保	福祉マップ作成	住宅地図CDの活用	通年							継続・新規	
			募金活動の強化(事業所募金の推進、封筒募金の導入)	ともに支え合う意識の向上を目指す	継続								継続
			街頭募金の実施		継続								継続
		チャリティバザーの隔年実施				開催			開催			継続	
		書き損じはがき等収集	地区VC	随時								継続	
		寄付者への感謝状贈呈		随時								継続	

※推進方策欄・項【位置付】の「新規(再)」は第7次推進計画中間点検において、D評価(あまり進展していない)及びE評価(まったく進展していない)の事項で再度取り組むもの